

地域・中小企業を元気にする

# 月刊石垣

日本商工会議所の  
ビジネス情報誌

特集

## 産学連携で不況を乗り越え

P.14

社訓のススメ

### 丸山 秀二

P.13

十日町商工会議所 会頭  
株式会社丸山工務所 代表取締役会長

まちの解体新書

### 徳島県小松島市

P.37

あの人を訪ねたい

### 細川 佳代子

P.8

スペシャルオリンピックス日本 名誉会長

暖簾を受け継ぐ

### 鈴木バイオリン製造

P.54

# 3

2010

数百年の風雪に耐えてビクともしない石垣——。

それは色や形の異なる大小さまざまな石がガッチリ組み合わさってできています。国の経済もまた大企業や中小零細企業が相互に補完しあってこそ、力強い発展を続けることができるのです。あらゆる業種・業態の大企業から中小零細企業までもメンバーとする商工会議所は、地域経済の伸長発展を担いつつ、日本経済を守り続ける「石垣」です。

題字の揮毫は、岡村正・日本商工会議所会頭の筆によるものです。

表紙

季節を彩る  
日本の技

ブックカバー／いたがき  
北海道・赤平市

表紙撮影：加藤正博



約2カ月かけて丹念になめされた革は、時間とともに風合いを増す

かつて炭鉱で栄えた赤平市。同市に本社を構えるいたがきは、「妥協はしない、まねはしない、無駄にしない」をモットーに、素材と手仕事にこだわった革製品を製造・販売しています。

同社の製品にはタンニンなめし革が使われています。タンニンなめしとは、太古の昔から行われてきた皮の加工方法。樹皮から抽出した液を含んだ溶液で、皮から不要なたんぱく質や脂肪を取り除き、丈夫で柔らかい。革にします。それを馬具用マシンや手縫いで、丁寧に製品へと仕上げていくのです。

3月は進学・就職・転勤などを控えた、節目の季節。新しい未来への一歩を踏み出す方へ、お薦めの一冊にブックカバーをかけて贈るのはいかがでしょう。

なめし革のブックカバーは、丈夫で使うほど手になじみます。初めは少し硬かったブックカバーが柔らかくなるころには、きっと新しい環境に慣れ、充実した日々を送っていることでしょう。